

点検・評価報告書 記述の注意点と根拠資料例
(令和 6 年度 大学評価)

本資料の内容について

- この資料は、点検・評価の結果を各大学が点検・評価報告書に適切に取りまとめ、その内容をより実質的なものとしていくために、記述の注意点や根拠資料例等を示したものです。本資料に示した注意点は、特に「現状説明」部分において**記述の核となる要素**を示したものであり、各大学の点検・評価報告書の内容をこれに限るわけではありません。注意点を踏まえつつも、それぞれにあった「評価の視点」を設定するなどし、各大学の実態に沿いながら点検・評価することが望まれます。また、根拠資料例はあくまでも例であり、資料の選択は各大学に委ねられます（ただし提出が必須の資料（以下、必須資料）（後述）があります）。

≪「注意点」の欄≫

- 「…については、簡潔な記述が可能です」などとあるもの（文頭が○）は、**根拠資料を確認することを前提**として原則的に点検・評価報告書での記述を簡素にとどめることが想定されるものです（資料例は右側の「根拠資料欄」に提示）。主として、基礎要件、その他数値情報や制度・取り組みの概要（例：組織体制）、あるいは根拠資料を見れば一義的に理解できるもの（例：情報公表の実態）などが該当します。なお、ここでいう簡素な記述とは、例えば、「○○○については適切に○○しており、その詳細は資料〇ー〇の通りである。」といった表記法を意味しています。ただし、改善の余地があるなど特記すべき状況にある場合はこの限りでなく、その問題状況等の説明が求められます。
- 「…を説明してください」「…解説してください」などとあるもの（文頭が◎）についても、場合によって、図表で示したり根拠資料を活用したりすることで、記述が過度に長大とならないよう工夫してください。

≪「根拠資料例」の欄≫

- 「根拠資料例」の欄に“■”の付された資料類は、**必須資料**です。そのほか、点検・評価の状況に応じて活用が考えられる資料等の例は、“・”付きで記載されています。
- 「根拠資料例」の欄に“※”が右肩に付された資料類があります。これは、当該資料が学部・研究科別に作成されている場合、**すべての学部・研究科のものを提出することを原則とした資料類**です。

≪その他≫

- 特定の学位課程のみに関するものは、次のような略記を添えています。
 - a. 【学士】：学士課程（ただし、この略語の対象には b を含まない）
 - b. 【学専】：学士課程（専門職大学及び専門職学科）
 - c. 【修士】：大学院修士課程
 - d. 【博士】：大学院博士課程
 - e. 【院専】：大学院専門職学位課程
- 点検・評価報告書の作成にあたっては、「**全学的観点**」から点検・評価して記述してください。すなわち、各学部・研究科や学内の諸組織における状況を単にとりまとめるのではなく、大学として全学の現状を

総括し、優れた点や問題点、そして将来的な方向性を整理した結果を記述してください。なお、基準1「理念・目的」、基準4「教育課程・学習成果」、基準5「学生の受け入れ」、基準6「教員・教員組織」については、学部・研究科によって内容が異なる事項も多く含まれます。それらにおいては、**全学的な現状を記述するとともに、個別的な状況を具体例として取り上げてください**（特に**基準4点検・評価項目③**。なお、同項目においては、各学位課程（**学士課程**（専門職学科を置く場合は、当該学科とそれ以外からそれぞれ）、**修士課程**、**博士課程**、**大学院の専門職学位課程**）に応じて例を挙げる必要があります）。

（例えば、基準4の点検・評価項目③（教育課程の編成）において、教育課程が体系だったものであるか否かを記述するにあたっては、全般的な状況を記述するとともに、学士課程について任意の学部の実態を例として取り上げ、また研究科が存在する場合は、修士課程、博士課程、専門職学位課程のそれぞれに応じた例を取り上げてください。記述は、エビデンスを示してその現状や適切性を説明したものであることが必要です。）

《教育課程等に係る特例措置を受けた大学》

大学設置基準第57条第1項等に基づく特例対象の学部等がある大学は、本資料にある注意点等によるほか、とりわけ下記のことには注意して点検・評価報告書の作成、根拠資料の選定にあたってください。

- 関連する基準の点検・評価項目で特例措置の事項に言及してください（例：校地・校舎であれば基準8）。
なお、例えば基準4で学部の実態を例として取り上げるに際し、通常の学部のほか**特例対象となる学部からも1学部**を例に挙げてください。
- 文部科学省から報告の要求や是正要求があった場合は、基準4等で例示するか否かに関わらず、その内容と対応策を記述してください。記述個所は、**該当する点検・評価項目**です（例：授業科目に関してならば、基準4点検・評価項目③）。
- 個別の根拠資料に関しては、以下「根拠資料」のところに、**【特例措置】**として記載しています。なお、**【特例措置】**として挙げるものが必要な資料の全てではなく、実際には、通常と同じく各大学での自己点検・評価に応じた資料選定が必要です。

基準 1 理念・目的

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	○大学の理念・目的や学部・学科、研究科・専攻等の目的の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎理念・目的の内容について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・高度の教育機関として、また、学術文化の研究機関として、ふさわしい内容を有するものであるか。 ・大学の理念・目的と学部・研究科の目的は連関しているか。 ・大学の個性、特徴は示されているか。 ◎自ら評価した上記内容を記述するにあたり、学部・研究科等のものを具体例として引く場合は、いずれかを抽出して記載する、あるいは、すべてに共通している要素を取り上げるなど、大学の状況に応じて行ってください。	■寄附行為又は定款 ■学則、大学院学則又は教育研究上の目的を規定したその他の規程 ■大学、学部・研究科を紹介するパンフレット ■大学及び学部・研究科の理念・目的を公表しているウェブサイト ・理念・目的の設定経緯が分かる資料
② 大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	○大学の理念・目的及び学部・研究科の目的の学則等への明示、教職員及び学生に対する周知の方法・機会等や、社会への公表の媒体（基礎要件）については、評価者が根拠資料を参照することを前提に、簡潔に記述することが可能です。	■寄附行為又は定款 ■学則、大学院学則又は教育研究上の目的を規定したその他の規程 ■大学、学部・研究科を紹介するパンフレット ■大学及び学部・研究科の理念・目的を公表しているウェブサイト ・理念・目的の認知度を示す資料
③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を	○中・長期計画等が策定されているか、またどのような内容を持っているかについては、評価者が根拠資料を参照することを前提に、簡潔に記述することが可能です。 ◎中・長期計画等の内容に関し、以下の点を含めて解説してください。	■中・長期計画、アクションプラン、具体的施策等

点検・評価項目	注意点 （○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの）	根拠資料 （■は必須 その他は例）
見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。	・中・長期計画等の対象期間、今期の計画等における大学の目指す方向性 ・中・長期計画等の実現可能性の担保（組織、財政等の裏付け） ・中・長期計画等の達成状況の検証や見直し（認証評価や国公立大学における法人評価などの結果の活用についても言及）	

基準2 内部質保証

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。	○内部質保証に関する全学的な方針（基本的な考え方）の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎内部質保証に関する全学的な方針について、以下の点を含めて説明してください。 ・質保証の対象など、内部質保証に対する大学の考え方と、それを推進するための手続をどのように規定しているか（下記の点を含む）。 ┌ 全学内部質保証推進組織の権限と役割 └ 全学内部質保証推進組織と学部・研究科その他の組織との役割分担 └ 教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上のための指針 ◎内部質保証のための全学的な方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・方針は、内部質保証に対する大学の考え方を明確に示しているか。 ・方針は、大学内で共有されているか。 ・方針の策定は、内部質保証に関わる取り組みの円滑化につながっているか。	■内部質保証関係の規程類 ■内部質保証の方針、手続を定めた文書 ■内部質保証の体制図、プロセス図 ■学内文書など方針の共有実態を示す資料
② 内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備しているか。	◎内部質保証体制の構築・整備の実態について、以下の点を含めて説明してください。 ・いつから構築・整備に取り組んでいるのか。 ・構築・整備は完了しているのか、途上にあるのか。 ◎内部質保証体制の内容について、以下の点を含めて概略を説明してください。なお、規程等に定めている内容については、簡潔な記述が可能です。 ・全学内部質保証推進組織の構成員、権限・所管事項 ・全学内部質保証推進組織とその他の会議体等との役割	■内部質保証関係の規程 ■内部質保証の体制図、プロセス図 ■全学内部質保証推進組織の名簿

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	分担 ・全学内部質保証推進組織とその他の会議体等との連携、内部質保証のプロセスなどの手続 ◎内部質保証体制の構築・整備の実態について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、方針との整合性や以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・全学内部質保証推進組織は、内部質保証の中心的な責任組織として内部質保証の円滑な機能につながる役割を担っているか。 ・全学内部質保証推進組織とその他の会議体を含めた内部質保証システムは、円滑に取り組みを進めるためのものとして妥当なものか。	
③ 方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	◎内部質保証システムの運用実態について、以下の点を含めて説明してください。 ・3つの方針の策定・見直し等にあたり、全学的な考え方を明らかにしたうえで、学部・研究科の方針を策定・見直ししているか。また、その策定・見直しに全学内部質保証推進組織が関与し、マネジメントを行っているか。 ・大学の現状を点検しその適切性を評価するため、どのような仕組み・プロセスで点検・評価に取り組んでいるか(学部・研究科レベルの点検・評価と大学全体の点検・評価について説明することが必要)。また、その点検・評価に全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価の結果を踏まえて、大学の特長や課題をどのように見出し、改善・向上につなげているか。またその際、全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価の客観性を高めるための工夫としてどのようなことを行っているか。また、外部からの意見や第三者評価(認証評価や行政機関等からの指摘を含む)	■内部質保証関係の規程 ・全学内部質保証推進組織によるマネジメントの実態が分かる資料(同組織の議題一覧、議事録等) ・3つの方針策定のための全学的な方針 ・各学部・研究科が点検・評価する際に用いるシート等の様式 ■各学部・研究科が点検・評価の結果作成した報告書等の資料〔特例措置〕毎年文部科学大臣に対して提出する実施状況報告書、検証報告書も可〕※ ・外部評価結果※ ・各学部・研究科がとった改善・向上措置を示す資料

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	を、どのように改善・向上につなげているか。またこれらの際、全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ◎現状として内部質保証システムが適切に運用され有効に機能しているといえるかを、上記の点などを踏まえながら、第三者に分かるよう記述してください。	料※ ■設置履行状況等調査、認証評価機関等で指摘された事項及びそれに対する改善等の取り組みが分かる資料
④ 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。	○公表媒体及び公表内容の実態（基礎要件）については、簡潔な記述が可能です。 ◎公表する情報の得やすさや理解しやすさへの配慮について、取り組みを行っていることがあれば記述してください。	■ウェブサイト ・冊子等のその他公表媒体
⑤ 内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎内部質保証システムやその機能実態について、優れた点や問題点、改善・向上を図るべき点を明らかにする目的で、どのような点検・評価を行っているか、その仕組みについて、以下の点を含めて説明してください。 ・どのような体制、プロセス、観点で点検・評価しているか（あるいは、今後行おうとしているか）。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ・点検・評価の結果を、内部質保証システムの整備や機能向上にどのように結びつけ、改善・向上を図ったか（具体例を示すことが有効）。 【注意】この点検・評価項目は、内部質保証システム自体に対する点検・評価の適切性に関わるもの。現在の内部質保証システムが有効に機能しているか否かを記述するのは、点検・評価項目③。	・点検・評価の結果をまとめた文書 ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、その取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準3 教育研究組織

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。	○教育研究組織（附置研究所やセンター等を含む）の構成については、簡潔な記述が可能です。 ◎教育研究組織の構成について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、そのことが第三者に分かるよう記述してください。	■附置研究所、センターその他の組織等の設置趣旨や活動内容が分かる資料 ■大学基礎データ（表1）
② 教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎教育研究組織の構成面での適切性について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織、プロセスで点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、組織改組等の改善・向上に取り組んだ事例を説明してください。 【注意】本点検・評価項目について、基準2で点検・評価した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	・点検・評価に関わる主要な委員会等の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準4 教育課程・学習成果

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	○学位授与方針の内容、またその公表実態（媒体、内容）（基礎要件）については、簡潔な記述が可能です。 ◎学生に修得を求める学習成果をどのように明示しているかなど、学位授与方針の内容に関して解説してください。大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められますが、その際に学部・研究科における実態を例示として引用することが説得性を高めるうえで有効です。 【例示の方法】いずれかの学部・研究科を抽出して記載する、あるいは、すべてに共通していることを分析して記載する（大学の状況に応じて選択） ◎学位授与方針の内容や公表状況について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・修了にあたって学生が身に付けているべき能力（学習成果）が明確に示されており、かつそれは授与する学位に照らしてふさわしいものか。 ・全学的な学位授与方針と学部・研究科における方針は連関し、大学としての一貫性が担保されているか。 ・情報の得やすさや理解しやすさに配慮して公表されているか。	■ウェブサイト ・学位授与方針を規定した規程類 ・履修要項、パンフレットなど方針が掲載された資料 ・方針の策定経緯が分かる資料（議事録等）
② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	○教育課程の編成・実施方針の内容、またその公表実態（媒体、内容）（基礎要件）については、簡潔な記述が可能です。 ◎教育の内容をどのように定め、またその実施方法を示しているかなど、教育課程の編成・実施方針の内容に関して解説してください。大学全体の観点から点検・評価し、学部・研究科の例を交えながら記述することが求められますが、例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。	■ウェブサイト ・教育課程の編成・実施方針を規定した規程類 ・履修要項、パンフレットなど方針が掲載された資料 ・方針の策定経緯が分かる資料（議事録等）

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎教育課程の編成・実施方針の内容や公表状況について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学位授与方針と連関しているか。 ・教育の内容とともにその実施方法を明確にしているか。 ・全学的な教育課程の編成・実施方針と学部・研究科における方針は連関し、大学としての一貫性が担保されているか。 ・情報の得やすさや理解しやすさに配慮して公表されているか。	
③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	○基礎要件となっている事項のほか、個々の授業科目配置など教育課程の詳細については、簡潔な記述が可能です。 ◎教育課程について、以下の点を含めて実態を説明してください。 ・教育課程の編成・実施方針と整合しているか。 ・授業科目が順次的に配置され体系だったものになっているか。 ・専門分野の学問体系等にはどのように配慮されているか。 ・当該学位課程にふさわしい内容がどのように担保されているか。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。また、その際に学部・研究科における実態を例示として引用することが必要です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください(ただし、学士、修士等の学位課程それぞれについて例示が必要)。 ◎各学部・研究科に対して大学として行っている助言や支援、その他教学マネジメントの実態について説明してください。	■履修要項、シラバス※ ・カリキュラム・マップ※ ・カリキュラム・ツリー※ ・授業期間及び単位を規定した規程(学則等) ・学協会等が定めるモデルカリキュラムとの関係性を示した資料※ ・外部評価結果※ ■〔特例措置〕申請計画書 ・全学的な教学事項のガイドライン ・教育課程編成への全学内

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎教育課程について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学習成果を学生に修得させるという点において、十分な内容を備えたものであるか。	部質保証推進組織の関与が分かる資料（議事録等）
④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	◎学生の学習を活性化するためにどのような方法がとられ、またどのような授業運営、研究指導等がなされているかについて、説明してください。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。 ○上記にいう「学生の学習を活性化する方法」として想定されるものには、例えば、シラバスの活用、履修指導の実施、アクティブラーニングやPBLの導入、学生の学習時間を保証し単位の実質化を図る措置などが含まれます。なお、基礎要件となっている事項のほか、これらの措置それぞれの詳細な内容は、簡潔な記述が可能です。	■履修要項、シラバス（あるいは、授業の方法等が分かる資料）※ ・シラバス記載の適切性担保に関わる資料（作成方針文書等）※ ・学習支援ツール等に関する資料 ・人的なサポート（学習サポートデスク、学習アドバイザー）など授業外学習を奨励する取り組みに関する資料※ ・履修指導の実施状況を示す資料※ ■授業期間、単位計算及び履修登録単位の上限を定めた学則等の資料 ・履修登録単位数の上限緩和基準及び上限緩和の実態を示す資料 ・1授業科目当たりの学生数の基準及び学生数の実態を示す資料 （【学専】については、 ■大学基礎データ

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎教育の実施に関し、各学部・研究科に対して大学として行っている助言や支援、その他教学マネジメントの実態についても説明してください。 ◎学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための措置について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学習成果を学生が修得できるよう図る措置となっているか。 ◎臨地実務実習や連携実務実習について、以下のことを含めて記述してください。(【学専】) ・大学及び実習先(連携先)企業等における責任体制、実施状況の把握体制 ◎臨地実務実習や連携実務実習について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。(【学専】) ・臨地実務実習や連携実務実習は、安全・円滑に行われているか。	(表13)) ・学生の学習実態に関する調査結果 ■研究指導の内容・方法、年間スケジュールを示した資料※ (【修士】【博士】) ・全学的な教学事項のガイドライン ■実施計画、実施協定書、実施に係る責任体制が分かる資料※ (【学専】)
⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	○下記については、簡潔な記述が可能です。 ・卒業・修了要件の内容及び明示の実態(基礎要件) ・学位論文審査基準の内容及び明示・公表の実態(基礎要件)(【修士】【博士】)	■卒業・修了の基準、判定方法、体制等を明らかにした規程類 ■履修要項など成績評価方法、基準をあらかじめ学生が理解するための

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎成績評価及び単位認定を行うための制度や、その運用実態について説明してください。 ◎学位授与の実施手続及び体制や、その運用実態について説明してください。 ◎上記2点については、大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。 ◎成績評価等に関し、各学部・研究科に対して大学として行っている助言や支援があれば説明してください。	資料※ ■履修要項など卒業要件、修了要件をあらかじめ学生が理解するための資料※ ■学位論文審査基準、特定課題についての研究に関する審査基準※ (【修士】【博士】) ■学位論文審査基準を公表しているウェブサイト (【修士】【博士】) ■学位論文審査基準を学生に示している資料※ (【修士】【博士】) ・成績評価・単位認定、学位授与について学生の意見が分かる資料(学生アンケート) ※ ・成績評価についての全学的、学部等による申し合わせ※ ・GPA分布※ ・既修得単位の認定状況に関する資料 ■実践的な能力を修得している者に対する単位の認定に係る基準を示した資料※ (【学専】) ・成績評価・単位認定や学位授与に関する全学内部質保証推進組織の審議、関わりを示す資料(同組織の議事録等)

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎成績評価、単位認定及び学位授与について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下のような点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・授業科目の性質等にふさわしい方法・基準を用い、成績評価・単位認定が厳格かつ適正に行われているか。 ・明確な手続と体制によって学位授与が行われているか。	
⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	◎学位授与方針に示した学習成果を把握・評価する取り組みについて、説明してください。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。 ◎学習成果の把握・評価に関し、各学部・研究科や教育プログラム実施単位に対して大学として行っている助言や支援、その他教学マネジメントについて説明してください。 ◎学習成果の把握・評価について、現状の点検結果に基づ	・学習成果指標※ ・直接評価の事例を示す資料（アセスメント・テスト等）※ ・間接評価の事例を示す資料（学生調査等）※ ・卒業生調査に関する資料※ ・ループリック、ポートフォリオなど学習成果の把握に用いられているツールに関する資料※ ・就職状況から学習成果を分析した報告書※ ・学習成果の把握・評価に関わる規程※ ・教授会や教育の運用にあたる各種委員会の学習成果測定に関する資料（議事録等）※ ・学習成果測定に関し全学内部質保証推進組織の審議、関わりを示す資料（同組織の議事録等）

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの) ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	き、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学位授与方針に示した学習成果の内容に沿った指標・方法を用いて学習成果の把握が行われているか。 ・把握した結果を大学として評価（学生が成果を修得できているか否かの判断を含む）した結果は、教育改善等に活かされているのか。	
⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎教育課程及びその内容、方法について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、教育課程等の改善・向上に取り組んだ事例を説明してください。 ◎取り組みを説明するにあたっては、学習成果を測定した結果が点検・評価の実施にあたってどのように活用されているかも分かるように説明してください。 【注意】本点検・評価項目について、基準2で点検・評価し、その結果を記述した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	・体制図や規程など、教育課程・学習成果の点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料※ ・点検・評価の基準、項目※ ・点検・評価の結果をまとめた文書※ ・学習成果測定結果を踏まえて教育効果を検証したことが分かる資料※ ・全学内部質保証推進組織の議事録 ・改善・向上の実例を示す資料※
⑧ 教育課程連携協議会を設置し、適切に機能させているか。(学士課程(専門職大学及び専門職学科)／大学院の専門職学位課程)	【学専】【院専】 ○教育課程連携協議会の構成員や運営の概要については、簡潔な記述が可能です。 ◎教育課程連携協議会の意見をどのように勘案し、教育の運営や改善等を図っているのかを説明してください。	■教育課程連携協議会の名簿※ ・教育課程連携協議会の議題一覧、議事録※ ・意見の活用状況を示す資料※

基準5 学生の受け入れ

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	○学生の受け入れ方針の内容、またその公表実態（媒体、内容）（基礎要件）については、簡潔な記述が可能です。 ◎入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法をどのように示しているかなど、学生の受け入れ方針の内容に関して解説してください。大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。 【例示の方法】いずれかの学部・研究科を抽出して記載する、あるいは、すべてに共通していることを分析して記載する（大学の状況に応じて選択） ◎学生の受け入れ方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学位授与方針や教育課程の編成・実施方針と連関しているか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法は明確になっているか。 ・全学的な学生の受け入れ方針と学部・研究科の学生の受け入れ方針は連関し、大学としての一貫性が担保されているか。 ・情報の得やすさや理解しやすさに配慮して公表されているか。	■ウェブサイト ■入学試験要項* ・学生の受け入れ方針を規定した規程類
② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正	○学生募集、入学者選抜の制度・方法としてどのようなものがあるかについては、簡潔な記述が可能です。 ◎学生募集、入学者選抜の実施体制、手続や、その運用実態について説明してください。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その	■入学試験要項* ■入学者選抜に係る規程 ■学内組織体制図（入学試験委員会等の位置づけが分かるもの） ・合格者を判定する仕組み

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの) ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
に実施しているか。	結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。 ◎学生募集、入学者選抜について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学生募集及び入学者選抜の運営体制は、規程等に応示された権限・役割を果たしたか。 ・学生募集及び入学者選抜の手続は学生の受け入れ方針に整合しているか。 ・学生募集及び入学者選抜の手続は明確か。 ・公正かつ適切な学生募集及び入学者選抜となっているか。	やプロセスに関わる資料
③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	○志願者・入学者等の動向、定員管理の実態（基礎要件）については、簡潔な記述が可能です。 ◎収容定員に比して在籍学生数が大幅に超過しているケースや充足していないケースがあるなど、定員管理に問題がある場合、どのような対策をとっているかを説明してください。 ◎定員管理について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、下記の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・大学としての定員管理の考え方、基準等は明確か。 ・入学定員及び収容定員に即した学生の受け入れ、在籍数の実態となっているか。 ・現在の入学者数、在籍学生数は、教育効果の観点から妥当な数か。 【注意】入学定員及び収容定員は大学が設定したものであり、これを過不足なく管理することが理想です。定員管	■大学基礎データ（表2、表3） ・収容定員の適正化に向けた将来計画

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	理に関する大学の考え方、基準を明らかにして適切性を評価してください。	
④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎学生の受け入れについて、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか（同組織からのフィードバック等）。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、学生の受け入れに関わる改善・向上に取り組んだ事例を説明してください。 【注意】本点検・評価項目について、基準2で点検・評価した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	・体制図や規程など、学生の受け入れの点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料※ ・点検・評価の基準、項目※ ・点検・評価の結果をまとめた文書※ ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは検討の実態が分かる資料）※ ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料※

基準6 教員・教員組織

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	○大学として求める教員像や、各学部・研究科等に関する教員組織の編制方針の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎どのような考えから定めているかなど、教員像、教員組織の編制方針の内容に関して解説してください。その際、教員組織の編制方針については、以下の点を含めて説明してください。 ・教員の分野構成、各教員の役割・責任、連携のあり方、教育研究に係る責任所在等をどのように考えているか。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。 【例示の方法】いずれかの学部・研究科を抽出して記載する、あるいは、すべてに共通していることを分析して記載する（大学の状況に応じて選択） ◎教員像、教員組織の編制方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・求める教員のあり方、教員の分野構成、各教員の役割・責任、連携のあり方、教育研究に係る責任所在等が明確で、体系的・効果的な教育や、理念・目的に沿って教育研究等の諸活動を行っていく観点から妥当なものか。 ・方針は、大学内で共有されているか。	■大学として求める教員像、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在等について大学としての考え方を明らかにし学内で共有した資料※ ■ 基幹教員が担う役割や責任について定めた文書、基幹教員の学部等の運営への参画状況が分かる資料※
② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編	◎教育研究を遂行するため、どのような教員組織となっているかを説明してください。なお、専任教員・基幹教員数の情報（基礎要件）は、簡潔な記述が可能です。 ◎上記については、大学全体の観点から点検・評価し、その	■大学基礎データ（表1、4、表5） ・授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みや実例に関する資料※

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
制しているか。	結果を記述することが求められます。その際、学部・研究科の実態を例示することが説得性を高めるうえで有効です。例示の方法は、点検・評価項目①に準じてください。 ◎教員組織の編制実態について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・理念・目的、教員組織の編制方針に整合しているか。 ・教育研究上必要となる数の専任教員・基幹教員がいるか。 ・専任教員・基幹教員の専門性や、主要科目への配置など、教育を実施するうえで十分な体制か。 ・特に基幹教員制をとる場合、各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理ができているか（毎年の担当授業科目や単位数を確認する仕組み等）。また、複数学部等の基幹教員を兼ねる者や他大学・企業等の職を兼務する基幹教員がいる場合、業務状況や教育効果の面では適切か。 ・教育研究実施組織という考え方のもと、教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。・指導補助者を活用している場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。	・国際性、男女比など教育研究上の特性を踏まえて取り組んでいる事実を示す資料※ ■各基幹教員の授業担当状況に関わる資料※ ■複数の学部等の基幹教員を兼ねる者について、その数と兼務する学部等名が分かる資料※ ■他大学・企業等の職を兼務する者について、その数と兼務する大学・企業等名が分かる資料※ ■指導補助者を活用している場合は、その実態が分かる資料※ ■授業担当教員と指導補助者の責任関係、役割等と規定した規程
③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	◎教員の募集、採用、承認等の手続やその運用実例について説明してください。 ◎教員の募集、採用、承認等について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・公正性、適正性は担保されているか。	■教員の募集、採用、昇任に関して定めた規程※

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
④ ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	◎教員の教育能力の向上や教育課程、授業方法の開発・改善のための活動実態について、実施体制、実施内容を説明してください。なお、研修会等の形式をとるものの参加率などは、評価者が根拠資料を参照することを前提に、記述を簡潔にとどめることができます。 ◎教員の研究活動、社会貢献活動等の活性化や資質向上を図る取り組みについて説明してください(研修会等の場合、その参加率の記述方法は前記同様)。 ◎教育活動、研究活動、社会貢献活動等の評価とその結果の活用実態について説明してください。 ◎指導補助者に対する研修の実態について、実施体制、実施内容を説明してください。 ◎上記4点について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・取り組みが、教員の各種活動の活性化や向上につながっているか。	■大学としてのFDの考え方、実施体制、実施状況(参加率含む)が分かる資料※ ・教員業績評価指針 ・教員業績評価票 ■指導補助者の研修実態が分かる資料※
⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎教員組織について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、教員組織の改善・向上に取り組んだ実例を説明してください。	・体制図や規程など、教員・教員組織の点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料※ ・点検・評価の基準、項目※ ・点検・評価の結果をまとめた文書※ ・点検・評価に関わる組織の議事録(あるいは、検討の実態が分かる資料)※ ・改善・向上のために大学として合意した施策(人事計画等)や、取り組み

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
		のための工程、フレーム ワークが分かる資料※

基準7 学生支援

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。	○学生支援に関する方針の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎どのような考えから学生支援に関する方針を定めているかなど学生支援に関する方針の内容に関して解説してください。 ◎学生支援に関する方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・理念・目的を踏まえ、また、安定した学生生活を実現する観点から、必要となる取り組みの種類や内容等を明確にしたものになっているか。 ・方針は、大学内で共有されているか。	■学生支援に関する方針を明らかにし学内で共有した資料
② 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	◎修学支援（補習教育や補充教育、経済的支援など）、生活支援、進路支援などについて、その制度・取り組み、実施実績を説明してください。なお、各種制度・取り組みの詳細については、簡潔な記述が可能です。 ◎修学支援、生活支援、進路支援などについて、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・方針に沿って取り組みがなされ、安定した学生生活の実現につながっているか。	<学生支援全般> ・学生の満足度調査結果 <修学支援> ■経済的支援制度を学生に周知するための資料 ■大学基礎データ（表7） ・障がいのある学生や留学生の支援に関する資料 <生活支援> ■ハラスメント防止、学生の相談に応じる制度を学生に周知するための資料 ・学生相談室の利用統計 <進路支援> ■キャリア支援に関するガイダンス等の制度と

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
		実施状況が分かる資料 ・進路状況調査結果 <その他> ・ボランティア活動とその支援に関する文書 ・海外留学・研修等の情報や機会の提供に関する資料
③ 学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎学生支援について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、学生支援に関わる改善・向上に取り組んだ事例を説明してください。 【注意】 本点検・評価項目について、基準2で点検・評価した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	・体制図や規程など、学生支援の点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料 ・点検・評価の基準、項目 ・点検・評価の結果をまとめた文書 ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準 8 教育研究等環境

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。	○教育研究等環境に関する方針の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎どのような考えから方針を定めているかなど教育研究等環境に関する方針の内容に関して解説してください。 ◎教育研究等環境に関する方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・理念・目的や教育研究上の必要性を踏まえ、必要となる取り組みの種類や内容等を明確にしたものになっているか。 ・方針は、大学内で共有されているか。	■教育研究等環境に関する中長期計画など、教育研究等環境に関する方針を明らかにし学内で共有した資料
② 教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設及び設備を整備しているか。	◎施設及び設備について、その概要を説明してください。 なお、校地・校舎面積（基礎要件）等、施設及び設備の詳細な内容は、簡潔な記述が可能です。 ◎学生及び教職員における情報倫理の確立のため、どのように取り組んでいるかを説明してください。 ◎施設及び設備や、情報倫理確立のための取り組みについて、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・方針に沿った取り組みがなされ、学生及び教員が、学習、教育研究活動を十分に展開できるような施設、設備等になっているか。 ・セキュリティ、プライバシー、知的財産権の保護の観点を踏まえるなど、情報倫理確立のための取り組みは、当該大学における必要性や社会的な趨勢等を踏まえたものか。	■大学基礎データ（表1） ・情報通信機器等の機器・備品の整備状況を示す資料 ・施設・設備等の維持・管理、安全・衛生確保の取り組みを示す資料 ・バリアフリーへの対応など利用者の観点に立った施設・設備整備状況を示す資料 ・学生の自主学習に配慮した施設等に関わる資料。 ・ガイドラインなど情報倫理の確立に関わる資料

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
③ 図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。	◎図書館、学術情報サービスを提供する体制やサービスの内容について説明してください。 ◎上記について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・学生及び教員が、学習、教育研究活動を十分に展開できるような図書館、学術情報サービスとなっているか。	■図書館、学術情報サービスの内容が分かる資料 ・図書その他の学術資料の整備計画・指針、整備状況に関する資料 ・図書館等の利用状況に関する資料
④ 教育研究活動を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。	◎研究に対する大学としての基本的な考え方を説明してください。 ◎研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、教育研究活動に対する人的支援など、教育研究活動を支援する環境や条件について説明してください。 ◎上記について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・研究に対する大学としての基本的な考え方に沿ったものか。 ・教員が十分に教育研究活動に取り組み得るものとなっているか。	■大学基礎データ（表8） ・研究費の支給基準、支給実績を示す資料 ・研究休暇取得のための基準、運用実績を示す資料 ・教員の教育研究活動に対する人的支援に関わる資料（TA、RA関係規程等）
⑤ 研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。	◎研究倫理や研究活動における不正防止に関する規程や制度、教員や学生を対象とした取り組みを説明してください。 ◎上記について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・当該大学における必要性や各種ガイドライン、その他社会一般の趨勢等を踏まえた内容となっており、不正	■研究倫理、研究活動の不正防止に関する規程類 ・コンプライアンス教育、研究倫理教育の実施記録

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	な研究活動を防ぐことにつながっているか。	
⑥ 教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎教育研究等環境について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか（同組織からのフィードバック等）。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、施設、設備や各種の条件の改善・向上に取り組んだ事例を説明してください。 【注意】本点検・評価項目について、基準2で点検・評価した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	・体制図や規程など、教育環境等の点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料 ・点検・評価の基準、項目 ・点検・評価の結果をまとめた文書 ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準9 社会連携・社会貢献

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。	○社会連携・社会貢献に関する方針の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎大学として行う社会連携・社会貢献の内容・性質等をどのように考え、方針としているか説明してください。 ◎社会連携・社会貢献に関する方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・理念・目的や地域社会等のニーズ等を踏まえ、大学として行う社会連携・社会貢献の種類、範囲等を明確にしたものとなっているか。 ・方針は、大学内で共有されているか。	■社会連携・社会貢献に関する方針を明らかにし学内で共有した資料
② 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育・研究成果を適切に社会に還元しているか。	◎社会連携・社会貢献に関する取り組みについて説明してください。 ◎学内の実施体制や学外との連携体制を示す際には、それぞれの組織の責任及び役割も分かるように説明してください。 ◎社会連携・社会貢献に関する取り組みについて、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・方針に沿い、教育研究成果を有益に還元できているか。	■学外組織との連携協定書、社会連携・社会貢献に関する事業の報告書などの実施状況が把握できる資料
③ 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向	◎社会連携・社会貢献について、どのように点検・評価を行っているかを説明してください。その際、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジ	・体制図や規程など、社会連携・社会貢献の点検・評価に関わる体制、プロセスが分かる資料 ・点検・評価の基準、項目 ・点検・評価の結果をまと

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
けた取り組みを行っているか。	メントを行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、社会連携・社会貢献に関わる改善・向上に取り組んだ実例を説明してください。 【注意】本点検・評価項目について、基準2で点検・評価した内部質保証システムとの関係が不明確な記述事例も見られるので、注意してください。	めた文書 ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準 10 大学運営・財務（１）大学運営

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するために必要な大学運営に関する大学としての方針を明示しているか。	○大学運営に関する方針の内容については、簡潔な記述が可能です。 ◎理念・目的、中・長期計画等を実現するために適切な大学運営を行っていくうえで、どのような大学全体のマネジメントを行うべきか、また、どのように意思決定を行うべきか、その他執行部の体制・役割等について、大学としてどのように考え、方針に示しているかを説明してください。 ◎大学運営に関する大学としての方針について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・適正な大学運営を図るためのものとなっているか。 ・方針は、大学内で共有されているか。	■管理運営に関する方針を明らかにし学内で共有した資料
② 方針に基づき、学長をはじめとする所要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示しているか。また、それに基づいた適切な大学運営を行っているか。	◎大学や設置法人の役職者等の権限・役割、意思決定のプロセスについて、概略を説明してください。なお、規程等に定めている詳細な点については、評価者が根拠資料を参照することを前提に、記述を簡潔にとどめることができます。 ◎大学運営の実態について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・規程は権限・役割、意思決定のプロセスを明確にし、適正な大学運営を担保するものとなっているか。 ・規程に基づく適正な運用が図られているか。	■規程集（法人及び大学のもの） ■寄附行為又は定款 ■学長選出・罷免に関する規程 ■役職者の職務権限に関する規程 ■教授会規程 ■設置法人の理事会名簿（役職、氏名、所属先等を明示したもの）
③ 予算編成及び予算執行を適切に行っているか。	◎予算編成や予算執行のプロセスを簡潔に説明してください。なお、規程等に定めている詳細な点については、評価者が根拠資料を参照することを前提に、記述を簡潔にとどめることができます。	■寄附行為又は定款

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	◎予算編成や予算執行について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・明確で透明性のある予算編成手続となっているか。 ・適正な手続きによる予算執行になっているか。	
④ 法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。	○組織構成や人事手続等については、簡潔な記述が可能です。 ◎事務組織や教職協働の取り組みについて説明してください。 ◎事務組織や教職協働の取り組みについて、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、下記の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・大学業務を円滑かつ効果的に行えるような事務組織の編成となっているか。 ・事務組織の機能や教職協働の取り組みは、効果的な大学運営を実現するものとなっているか。	■法人及び大学の組織機構が分かる資料 ■職員採用規程 ・教学運営等における教職協働の取り組み実例に関する資料(学内委員会 の委員一覧等)
⑤ 大学運営を適切かつ効果的に行うために、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	◎職員を対象とした資質向上の取り組みや、教員と職員を対象とし両者が協働して大学運営を行っていけるように図る取り組みについて、実施体制、実施内容を説明してください。なお、研修会等の形式をとるものの参加率などは、評価者が根拠資料を参照することを前提に、記述を簡潔にとどめることができます。 ◎上記の取り組みについて、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・取り組みが、各種活動の活性化や向上にどのような影響を及ぼしたか。	■SD実施計画、実施報告、研修内容一覧など大学としてのSDの考え方、実施体制、実施状況(参加率含む)が分かる資料

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
⑥ 大学運営の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	◎監査や、大学運営の適切性についての点検・評価が、どのように行われているかを説明してください。そのうち、点検・評価については、以下の点は必ず説明してください。 ・どの組織が点検・評価を行っているのか。 ・どのような観点から点検・評価を行っているか。 ・点検・評価を踏まえ改善・向上を図る体制、プロセスは、どのようなものか。 ・全学内部質保証推進組織はどのように関与し、マネジメントを行っているか。 ◎点検・評価の結果を踏まえ、大学運営方法の改善や事務組織の改編など改善・向上に取り組んだ実例を説明してください。	■寄附行為又は定款 ■監事による監査報告書 ■監査法人又は公認会計士による監査報告書 ■事業報告書 ・規程、体制図など大学運営について点検・評価する体制・プロセスが分かる資料 ・点検・評価の基準、項目 ・点検・評価の結果をまとめた文書 ・点検・評価に関わる組織の議事録（あるいは、検討の実態が分かる資料） ・改善・向上のために大学として合意した施策や、取り組みのための工程、フレームワークが分かる資料

基準 10 大学運営・財務（2）財務

<点検・評価項目ごとの注意点>

点検・評価項目	注 意 点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
① 教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期の財政計画を適切に策定しているか。	◎中・長期の財政計画について、以下の点などを踏まえて説明してください。 <国立大学、公立大学（法人化したもの）> ・中期計画に応じた6カ年の財政計画の策定状況 ・中期計画策定時に際してもととした、各年度の財政計画（数値）の策定状況 ・設置団体からの交付金支給に関するルール（シーリング等）の内容 <公立大学（法人化していないもの）> ・設置団体の財政計画における当該大学の位置づけ ・当該大学の教育研究を展開するための財政計画の内容（配分に関する設置団体とのルールを含む） <私立大学> ・学校法人や大学の中・長期計画、施設・設備計画等との連動性 ・数値目標、今後を見通した財務シミュレーションなど基本的な財政に関する目標の策定状況 ・大学自身が財務状況の適切性を検討する際の指標 ◎中・長期の財政計画について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、以下の点などを踏まえ、第三者にも分かるよう記述してください。 ・財政計画は具体的かつ妥当であって、安定した教育研究活動の遂行を図るものとなっているか。	■ 中期計画期における予算・収支等の財政計画
② 教育研究活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	○収支や資産の状況など財務諸表・財務計算書類等にある具体的な数値については、簡潔な記述が可能です。 ◎教育研究活動を遂行するための財務基盤の状況について、下記の点を踏まえて説明してください。	

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	<国立大学、公立大学（法人化したもの）> ・教育研究に充てる財源の維持 ・入確保の方法（学納金、交付金等） ・収入の多角化（外部資金の獲得等） 【注意】財務諸表のほか、大学基礎データ表 12 を用いて財務分析をしてください。 本協会では、財務諸表をもとに「国・公立大学法人財務推移及び財務比率確認表」（資料 9）を作成し、財務分析をします。大学の財務分析においてもそれらの資料作成・活用を検討してください。 <公立大学（法人化していないもの）> ・教育研究に充てる財源の維持 ・収入の多角化（外部資金の獲得等） 【注意】財務諸表のほか、大学基礎データ表 12 を用いて財務分析をしてください。 そのほか、「公立大学における収入・支出等に関する資料」（様式 7－2）を、学校基本調査に基づいて作成し、これを活用して財務分析をしてください。 <私立大学> ・学校法人及び大学の財務状況 ・収入確保の方法（学納金等） 【注意】財務計算書類のほか、大学基礎データ表 9～表 11 を用いて財務分析をしてください。 本協会では、日本私立学校振興・共済事業団による私立大学の財務比率の系統別平均値を用いた「財務比率対平均値比較一覧」（資料 7）や、貸借対照表に基づいて積立額の率や翌年度繰越収支差額を示した「要積立額に対する金融資産の充足率等確認表」	<国立大学> ■財務諸表（6 カ年分） ■決算報告書（6 カ年分） ■事業報告書 ■監事による監査報告書（6 カ年分） ■監査法人又は公認会計士による監査報告書（6 カ年分） ■大学基礎データ（表 12） <公立大学> ■財務諸表（6 カ年分） ■決算報告書（6 カ年分） ■事業報告書 ■監事による監査報告書（6 カ年分） ■監査法人又は公認会計士による監査報告書（6 カ年分） ■大学基礎データ（表 12） ■公立大学における収入・支出等に関する資料（様式 7－2）【法人化していない場合】 <私立大学> ■財務計算書類（6 カ年分） ■財産目録 ■事業報告書 ■監事による監査報告書（6 カ年分） ■監査法人又は公認会計士による監査報告書（6 カ年分） ■大学基礎データ（表 9、

点検・評価項目	注意点 (○…根拠資料の参照を前提に簡潔な記述にとどめられるもの ◎…一定の説明・解説の記述が必要となるもの)	根拠資料 (■は必須 その他は例)
	(資料 8) を作成し、財務分析をします。大学の点検・評価においてもそれらの資料作成・活用を検討してください。 ◎財務基盤の実態について、現状の点検結果に基づき、大学自らが適切性を評価した結果を記述してください。適切性を評価する際には、安定して教育研究活動を遂行するうえで十分なものかなどの点を踏まえ、そのことが第三者にも分かるよう記述することが重要です。	表 10、表 11) ■ 5 ヶ年連続財務計算書類 (様式 7－1)